

(新) 日本の自然を活かした地域活性化推進事業 (一部公共)

1,295百万円 (0百万円)

自然環境局自然ふれあい推進室、国立公園課、自然環境整備担当参事官室

1. 事業の概要

日本には、亜熱帯から亜寒帯、原生的な自然から里地里山や里海まで、多種多様な自然が存在する。その優れた自然の風景や自然に根差した文化は、観光資源として極めて高い価値を有しており、訪日外国人の関心も高い。

このため、日本の自然の魅力を効果的に発信し、より深く自然を体験するために必要なプログラムや施設を整備することで、国内外からの観光客を増加させ、地域活性化を図ることが重要である。

具体的には、国立公園等の優れた自然地域において多言語化したパンフレット等による情報提供システムの充実、サービスの質の向上、地域との協働の推進、ジオパークと国立公園の連携、エコツーリズムへの支援、地域の専門家を活用した課題解決、展望施設や情報提供施設等について国立公園の魅力向上のための統一的な施設整備などの取組を実施し、地域活性化に寄与するものである。

(1) 国立公園等魅力向上プロジェクト推進調査事業

国立公園の魅力向上のため、外国人利用者受入れ環境の課題整理及び改善方策の検討、公園利用の推進や統一感のある情報提供手法等に係るモデル事業の実施を通じた国立公園サービス向上ガイドラインの策定を行う。また、我が国の国立公園の魅力や利用についての情報を取りまとめ海外に向けた発信を行う。

(2) 国立公園協働型管理運営体制強化事業

多様な主体と協働した管理運営による地域に即した魅力ある国立公園の創設を目指すため、協働型管理運営体制の構築を推進する。あわせて、当該取組の情報を海外に向けて発信することにより、我が国の国立公園の国際的価値を高める。

(3) ジオパークと連携した地形・地質の保全・活用推進事業

ジオパークと国立公園の施策の連携を図るため、ジオパーク認定地域において、学術的価値の高い地形・地質を抽出調査し、その魅力を観光、環境教育、防災教育に活用するための計画を策定する。

(4) エコツーリズムを通じた地域の魅力向上事業

国立公園等において、自然観光資源を活用した観光地域づくりを推進するため、魅力あるプログラムの開発、ガイド等の人材育成などの地域のエコツーリズムの活動を支援する。

(5) 自然環境資源の持続的活用推進事業

山岳環境保全等の環境整備や質の高い自然環境資源の保全管理、利用者サービスの向上を図る取組を実施する。

(6) 国立公園魅力向上施設重点整備事業（公共）

世界遺産や世界ジオパークの候補地等、国立公園の一定のまとまりのある地域において、ビューポイント施設や自然解説施設などの国立公園の魅力をより一層引き出すための施設を、外国人利用者を始めとした利用者サービス向上に配慮して統一的に整備する。

2. 施策の効果

国立公園等の自然観光資源を最大限に活かしつつ、多様な主体との協働による地域の強みを活かした質の高い国立公園サービスの提供、統一感のある情報提供の実施、魅力向上のための施設整備、ジオパーク等と連携した体制の構築等を行うことにより、地域の自然環境資源を活用した地域間・国際間の人の交流の活発化を図り、地方経済の活性化や地方の雇用機会の創出に資する。

日本の自然を活かした地域活性化推進事業

1,295百万円

日本には豊かな自然が存在

自然や地域の文化は、観光資源として極めて高い価値を有し、訪日外国人の関心も高い

日本の自然の魅力の効果的な発信やより深く自然を体験するために
必要なプログラムや施設の整備等を実施

① 戦略的な情報発信

国立公園等の素晴らしい風景地情報など利用者ニーズにこたえた情報をインターネットや多言語化したパンフレット等を活用し、国内外に戦略的に発信



② 地域との協働による国立公園の管理・運営体制構築

将来プランの策定や連携事業の実施等、地域の様々な主体との協働による国立公園の管理・運営体制を構築



③ ジオパークと連携した国立公園の魅力創出

国立公園における重要な地形・地質の保全や観光、環境教育、防災教育への活用計画を策定するなど、国立公園の新たな魅力を創出



④ エコツーリズムの推進

エコツーリズムを活用した地域活性化を推進するため、地域が取り組むエコツアープログラムの作成やモニターツアー等の活動に対して支援を実施



⑤ 専門家を活用した課題解決

専門家を活用した課題解決を図り、より質の高い自然環境資源の保全や利用サービスの向上を図る



⑥ 魅力ある施設整備

国立公園の魅力を引き出すために風景地に適したデザインで統一的な整備を実施



豊かな自然を有する美しい国・日本へ
国内外からの利用者の増加

地域活性化！！

